

新座キャンパス AV サポート

1. 概要

データは以下より集計した。

- ・機器貸出：新座メディアセンター受付の貸出簿
- ・サポート：AV 機器等サポート連絡簿

2021 年度は大学の活動制限指針がレベル 1 で、授業は一斉に対面で始まった。ところが、政府の緊急事態宣言を受けてわずか 2 週間余りでレベル 3 に引き上げられ、ほぼオンラインまたはオンデマンド授業に切り替わった。秋学期はレベル 2 で開始し、2 週間でレベル 1 に戻り、再び対面が実施された。

春学期の開始に向けては、全教室でオンライン授業ができる機器の設置とそのマニュアルの作成、事前説明会の開催、そしてサポート体制を整えて臨んだ。しかし、初めてのミックス型に戸惑う教員が多く、ほとんどの授業で初回はサポートが必要となった。

2020 年度はオンライン授業をすることがほぼ教員も学生も初めてで、ともにかなり苦労されたようだった。しかし 1 年間でオンライン授業に慣れたことや、PC をはじめ様々なオンライン授業に必要な機器が手に入りやすくなり、自宅での環境が整えられるようになると、対面が再開された後も、対面よりオンラインを選ぶ教員も多かった。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府の方針	まん防	緊急事態宣言		まん防	緊急事態宣言							まん防
大学の基準	レベル1 4/1~4/28	レベル3 4/29~6/22		レベル2 6/23~7/13	レベル3 7/14~10/3		レベル2 10/4~10/17	レベル1 10/18~1/24			レベル2 1/25~3/31	
授業日数	16	44		18	18		9	63			0	

表 1：2021 年度大学の活動制限指針

2. 利用状況

(1). AV 機器貸出状況

対面授業が再開したため、貸出数は1,294件で2020年度に比べて約140%増加した。2019年度に比べても240%の増加となった。これはミックス型授業用に貸し出したWebカメラと三脚が300件以上あったためである。一方、スピーカーフォンは2021年3月中に全教室で音声オンラインで配信できる仕組みを構築したので、約140件減少した。

	ノートPC	Mac変換アダプタ	Webカメラ	ビデオカメラ	三脚	スピーカーフォン	ヘッドフォン	マイク	プロジェクター	BD/DVD	ラジカセ	ワイヤレスマウス	ICレコーダー	JJ	USBコンバーター	ケーブル類	その他	合計
2019年	121	117	3	29	28	0	15	40	0	16	2	96	11	0	0	28	31	537
2020年	158	10	69	68	111	201	44	1	0	0	0	1	2	56	81	101	0	903
2021年	94	25	381	49	413	65	82	10	6	4	22	15	0	26	54	44	4	1294
前年差	▲64	15	312	▲19	302	▲136	38	9	6	4	22	14	▲2	▲30	▲27	▲57	4	391

表2：2021年度AV機器貸し出し(機器別3期比較)

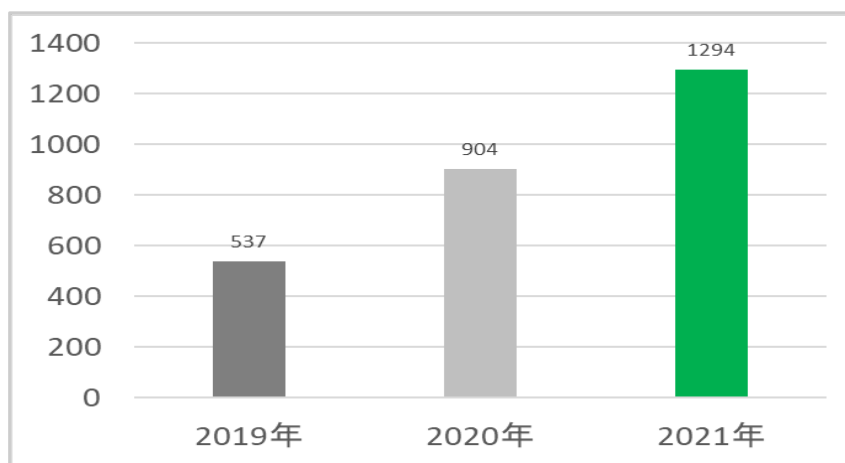


図1：2021年度AV機器貸し出し数(3期比較)

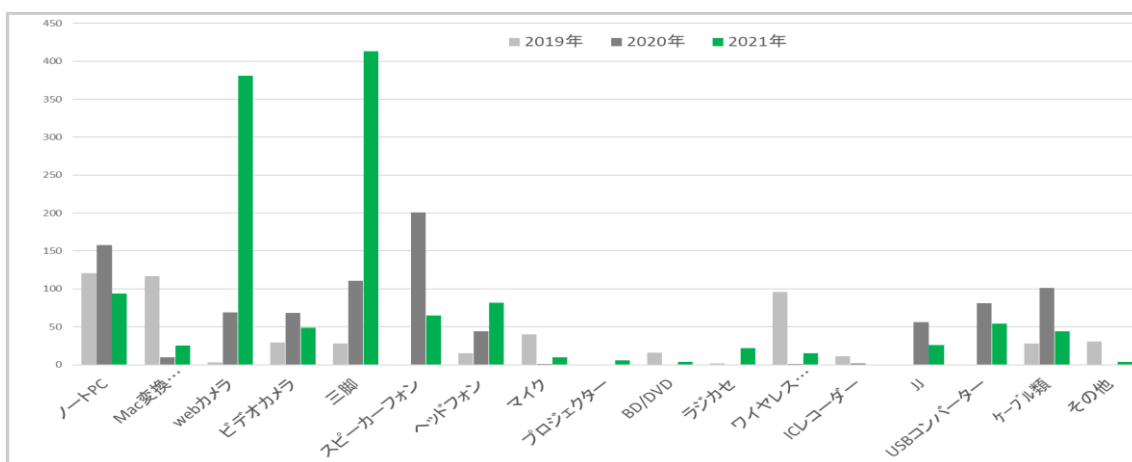


図2：2021年度AV機器貸し出し数(機器別3期比較)

(2). サポート状況

① 総合

サポートは対面及びミックス型が増えたため、前年度に比べて 200 件近く増加し、500 件以上となった。活動制限指針がレベル 1 で対面及びミックス型の授業が行われた 4 月、10 月、11 月、12 月、1 月の 5 か月間に集中した。しかし、他の月は基本オンライン実施となったので、コロナ前の 2019 年度に比べれば半数以下であった。

	設置&説明	操作ミス	トラブル	合計
2019年	577	111	320	1008
2020年	243	0	69	312
2021年	361	28	114	503
前年差	118	28	45	191
前年度比	148.6%	100.0%	165.2%	161.2%

表 3 : 2021 年サポート実績 (3 期比較)

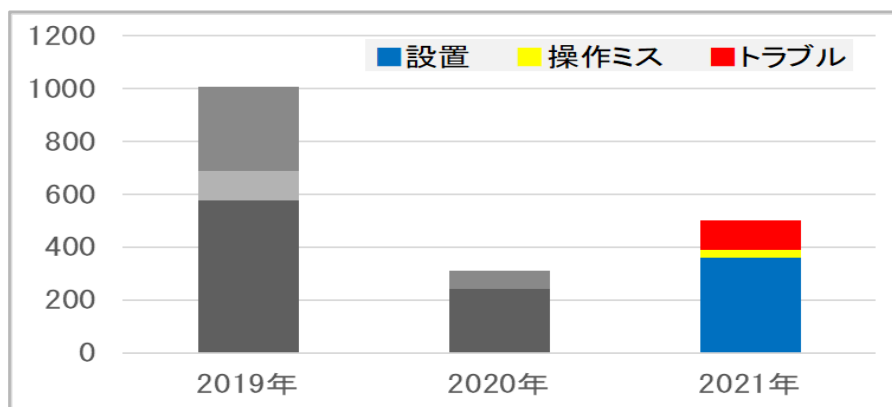


図 3 : 2021 年度サポート (3 期比較)

② 月別

月別では対面での授業が再開された4月が最も多い167件だった。しかし活動制限指針がレベル2に引き上げられた5月からはその1/10に減少した。レベル1に引き下げられた10月、11月は70件以上と増加したが、4月には及ばなかった。

	設置			操作ミス			トラブル			月合計			前年差
	2021年	2020年	2019年	2021年	2020年	2019年	2021年	2020年	2019年	2021年	2020年	2019年	
4月	120	4	107	2	0	18	45	0	49	167	4	174	163
5月	13	0	83	1	0	11	5	0	41	19	0	135	19
6月	40	0	81	1	0	11	4	0	59	45	0	151	45
7月	18	3	60	3	0	18	8	0	45	29	3	123	26
8月	0	0	4	1	0	0	0	0	6	1	0	10	1
9月	14	70	42	0	0	18	1	3	15	15	73	75	▲ 58
10月	65	67	59	2	0	9	6	16	32	73	83	100	▲ 10
11月	41	36	59	7	0	10	17	14	32	65	50	101	15
12月	23	25	33	5	0	10	17	13	19	45	38	62	7
1月	27	11	27	6	0	3	11	10	17	44	21	47	23
2月	0	15	11	0	0	3	0	4	5	0	19	19	▲ 19
3月	0	12	11	0	0	0	0	9	0	0	21	11	▲ 21
合計	361	243	577	28	0	111	114	69	320	503	312	1008	191

表4：2021年度サポート（月別3期比較）

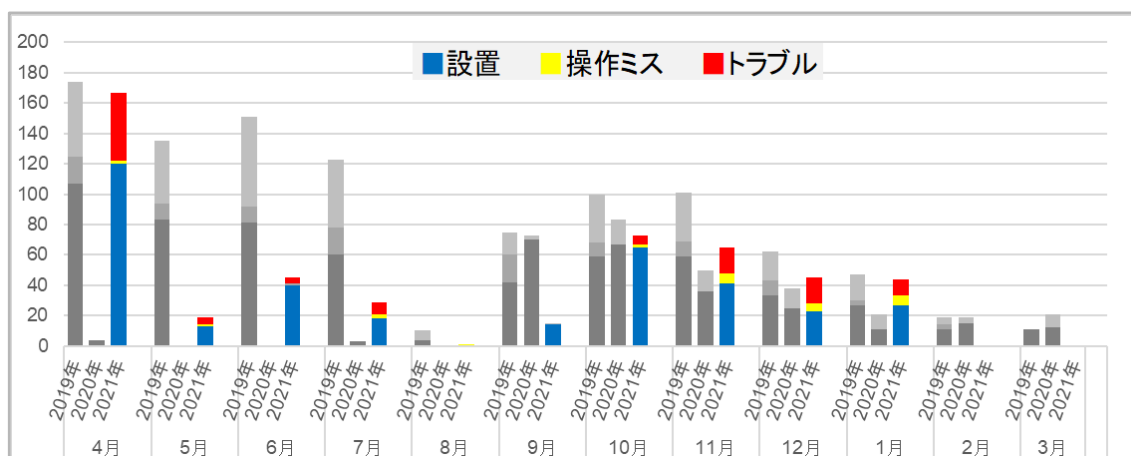


図4：2021年度サポート（月別3期比較）

③ AV タイプ別

操作卓型とAVラック型は200件以上のサポートで、いずれも前年度より100件以上増加した。特に設置及び使用説明と操作ミスがそれぞれの約80%を占めた。

	年度	設置	ミス	トラブル	合計
操作卓	2019	302	39	158	499
	2020	69	2	29	100
	2021	155	8	41	204
AVラック	2019	138	54	83	275
	2020	86	0	12	98
	2021	149	16	54	219
モニター	2019	10	5	14	29
	2020	3	0	0	3
	2021	13	1	5	19
PC	2019	20	5	23	48
	2020	3	0	3	6
	2021	25	0	7	32
その他機器	2019	107	8	42	157
	2020	34	0	10	44
	2021	19	3	7	29

表5：2021年度サポート（AVタイプ別3期比較）

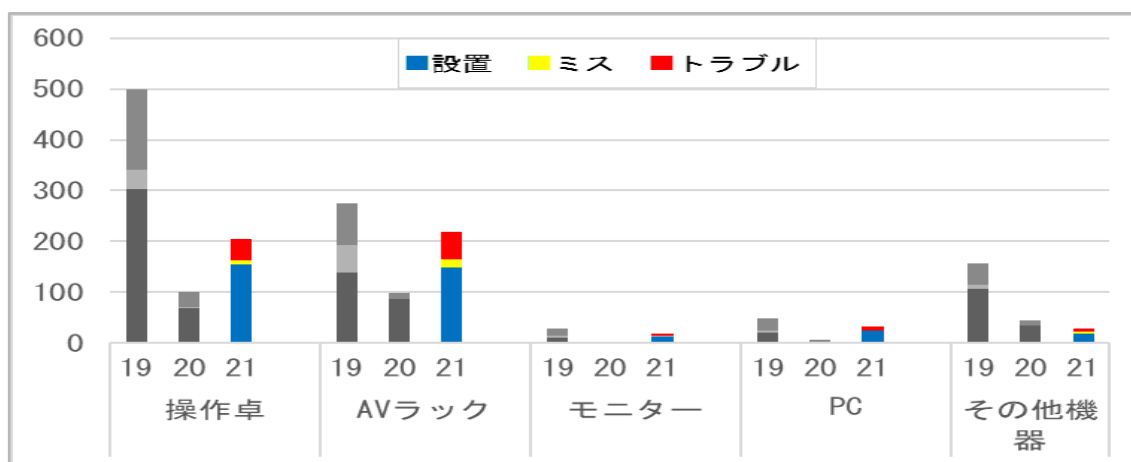


図5：2021年度サポート（AVタイプ別3期比較）

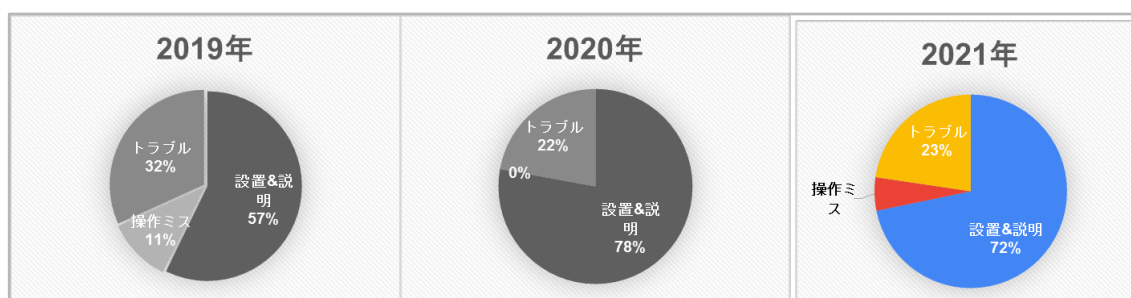


図6：2021年度サポート（内容別割合）

④ 機器別

ミックス型に関連する常設 PC、配信用 PC、Zoom、マイク、スピーカーフォン、プロジェクターでのサポートが多かった。ミックス型の場合、マスクやアクリル板が障害となってオンラインに声が届きにくいことがある。そのためマイク設置のリクエストも 130 件以上あった。

また、Zoom の他にイベントなどでは YouTube を利用することも増えた。一方池袋新座間で行っていた遠隔講義システムはほぼ使われなくなり、Zoom で代用されるようになった。

	年度	PC及びその周辺機					配信					マイク他		カメラ他		備品他				AVタイプ								
		常設PC	配信用PC	貸出PC	持込PC	Mac	周辺機器	Skype	Zoom	Meet	TV会議	Media	遠隔講義	YouTube	マイク	スピーカーフォン	DVカメラ	Webカメラ	プロジェクター	BD/DVD	OHC	その他機器	操作卓	AVラック	スラック	ラスタマ	PC教室	その他のタイプ
設置	2019年	49	0	15	31	21	5	12	0	0	54	15	96	7	87	19	58	0	51	34	5	116	61	36	49	3	0	0
	2020年	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	118	71	0	41	15	3	0	0	0	0	0	0	
操作ミス	2019年	120	109	36	35	70	2	0	172	14	1	1	1	47	124	74	17	66	150	25	2	34	155	98	49	13	25	35
	2020年	57	0	0	10	4	2	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	7	10	2	9	3	2	0	2	0	
トラブル	2019年	44	0	4	22	17	9	0	0	0	18	0	3	1	53	2	0	0	51	27	1	87	10	14	0	2	0	
	2020年	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	39	6	0	3	4	3	0	0	0	0	0	0	
合計	2019年	150	0	19	63	42	16	12	0	0	74	15	99	8	141	23	59	0	109	71	8	212	74	52	49	7	0	
	2020年	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99	157	77	0	44	19	6	0	0	0	0	0		
前年差		157	138	41	41	83	4	0	203	15	3	1	1	59	157	82	20	73	198	27	3	37	203	137	64	19	32	

表 6 : 2021 年度サポート（機器別 3 期比較）

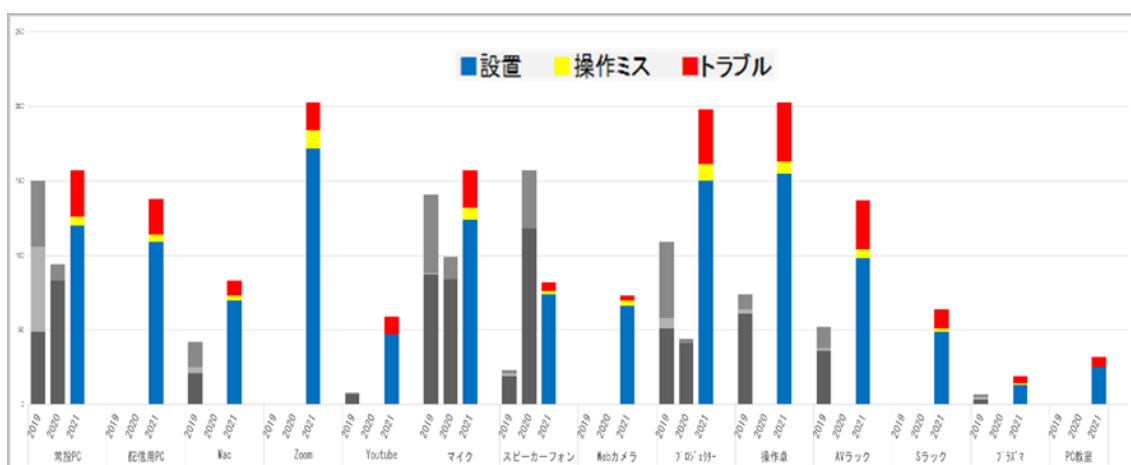


図 7 : 2021 年度サポート（機器別 3 期比較）

⑤ 機器トラブル

教室利用の増加により、機器トラブルも増えた。もともと経年劣化で危惧していたプロジェクターの故障が最も多かった。

トラブル	故障	電池 ケーブル抜け	リセットで 再現せず	その他	トラブル合計
2019年	52	90	134	44	320
2020年	18	14	24	10	66
2021年	101	13	0	0	114
前年差	83	▲ 1	▲ 24	▲ 10	48
前年度比	561.1%	92.9%	0.0%	0.0%	172.7%

表 7：2021 年度機器トラブル

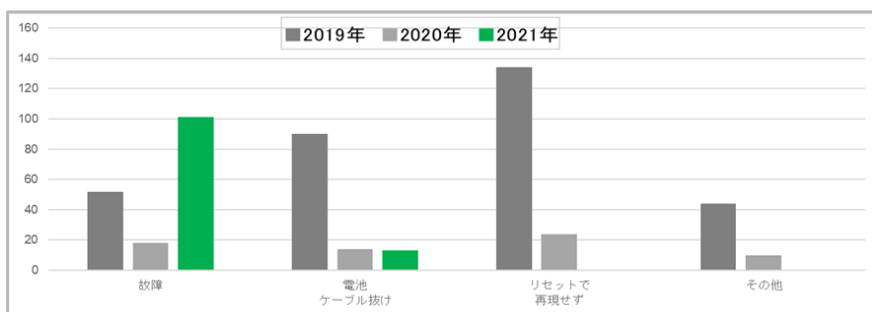


図 8：2021 年度機器トラブル（3期比較）

	有線PC	無線用PC	貸出PC	持込PC	Mac	電子黒板	ZOOM	Mac	TV会議	YouTube	マイク	スピーカーフォン	DVカメラ	ウェブカメラ	プロジェクター	BD/DVD	OHC	その他機器	機材庫	AVラック	ネットワーク	ディスプレイ	PC教室	その他のマイブ
2019年	44	0	0	26	17	0	3	0	18	0	53	2	0	0	51	27	1	96	10	14	0	2	0	0
2020年	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	39	6	0	3	4	3	0	0	0	0	0	0	0
2021年	31	24	3	4	10	1	19	0	2	12	25	6	2	3	37	1	0	3	40	33	13	5	7	9
前年差	20	24	3	4	10	1	19	0	2	12	10	▲ 33	▲ 4	3	34	▲ 3	▲ 3	3	40	33	13	5	7	9

表 8：2021 年度機器トラブル（機器別 3 期比較）

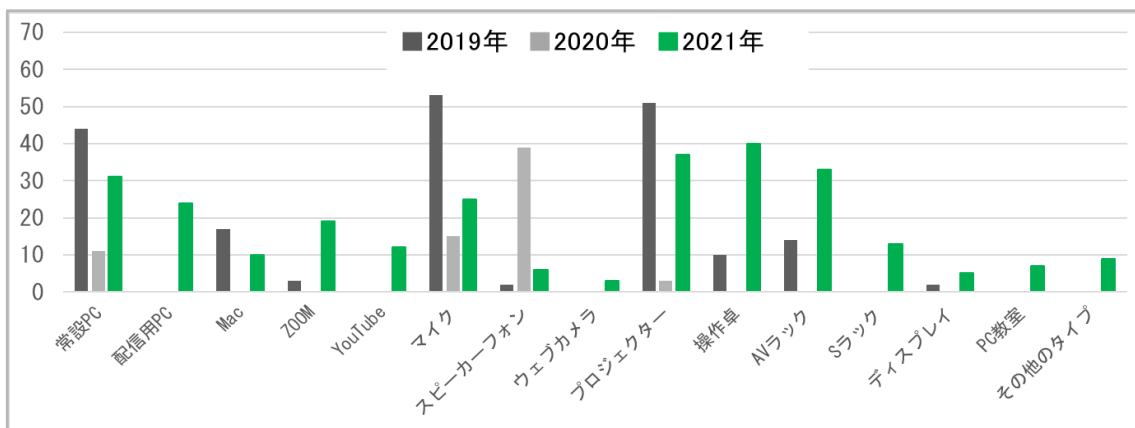


図9：2021年度機器トラブル（機器別3期比較）

(3). ダビング

データを mp4 に変換する依頼が多かった。

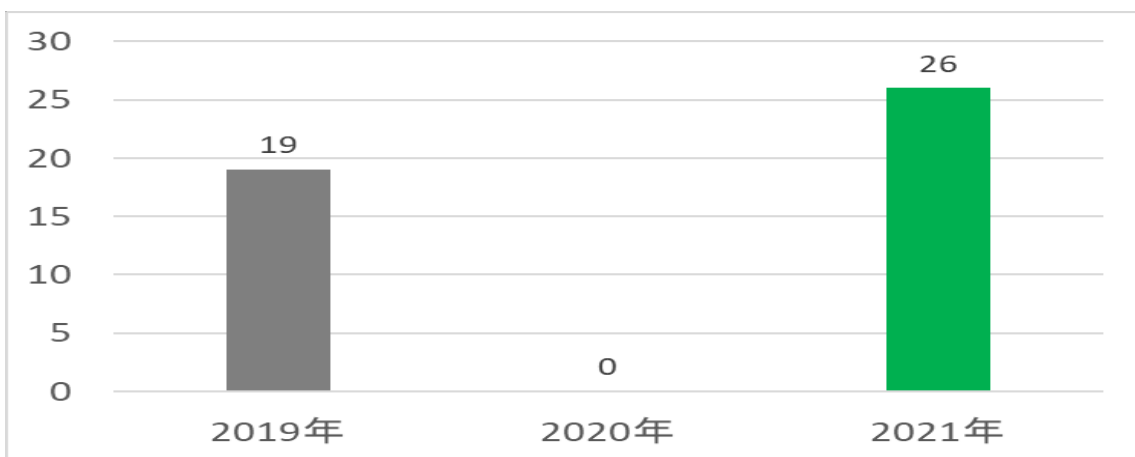


図10：2021年度ダビング数（3期比較）

3. 2021 年大学行事

実施日	依頼者	場所	目的	内容
4月1日(木)	教務事務センター	N8B1他	学生証交付	操作卓システム起動 OHC投影
4月1日(木)	全カリ事務室	N8B1他	プレイスメントテスト	ラジカセ設置
4月2日(金)	全カリ事務室	N851	プレイスメントテスト	ラジカセ設置
4月2日(金)	観光学部	N431	観光学研究科ガイダンス	ミックス型
4月2日(金)	現代心理大学院	N8B1	現代心理大学院ガイダンス	ミックス型
4月6日(火)	コミュニティ福祉学部	N121 N421 N8B1	コミ福ウェルカムアワー	ミックス型
4月6日(火)	現代心理学部	N431	現代心理学部ウェルカムアワー	ミックス型
4月7日(水)	現代心理学部	N121	現代心理学部ウェルカムアワー	Zoom配信
7月24日(土)	教務事務センター	N421・N8B1	中国語統一テスト	ラジカセ設置
11月5日(金)	総務課	チャペル	逝去者礼拝	収録、動画作成
11月13日(土)	チャブレンス事務課	チャペル	クリスマス・イブ礼拝撮影	収録、動画作成

表 9 : 2021 年度 主な大学行事 (新座キャンパス)

4. 2021 年度まとめ

対面での授業は再開されたものの、2020 年度に引き続きコロナの影響を多く受けた 1 年だった。対面とはいえ留学生や配慮の必要な学生がほとんどの授業で存在し、そのためミックス型授業となった。ミックス型授業のために、全教室に音声機器を設置、映像もプロジェクターに投影できるように整備した。また、教室内カメラやビデオサウンドバーがない教室では広角で映せる Web カメラの貸し出しを行った。しかし、実際に実施してみると、Meet や Zoom 上の設定やプロジェクターに映すべくケーブルの選択など、利用者にはマニュアルだけでは困難なことが多く、サポートは必須だった。

新座の特性として、ライブ音楽や身体表現といった座学以外の配信も多く、教員と相談しながら方法を探った。

また、機器類、特に操作卓の更新が進んでいないためほとんどの教室がアナログで、配信のためにデジタルに変換しての機器設置だった。そのため、操作が一層複雑にならざるを得なかった。

今後、コロナが収束しても様々な用途に対応するため、ミックス型がスタンダードになると予想されるので、機器の改修が急がれる。